

(別添1)

事業評価の結果（共通項目）

第三者評価の判断基準

福祉サービス種別 保育所 長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による
事業所名（施設名） 佐久市立高瀬保育園

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人（保育所）内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。 ■ 2 理念は、法人（保育所）が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人（保育所）の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 ■ 3 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 ■ 4 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 ■ 5 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。 ■ 6 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。 ■ 7 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。 	<p>○佐久市のホームページや高瀬保育園入園案内のパンフレットには、明文化された基本理念、基本方針、基本保育目標が明示され、子どもの最善の利益や養護と教育の一体化及び公立保育所の使命や役割を適切に反映した内容になっていました。</p> <p>○佐久市の基本理念、基本保育目に基づいた、高瀬保育園の運営方針、保育方針も入園案内に明示され、広く周知を図っていました。また、職員の行動規範、求められる保育士像として、年度当初の職員会や職員研修会で基本理念や基本保育目標の勉強会が行われ、全職員の周知共有が図られていることを会議録と職員インタビューで確認できました。</p> <p>○家族等には、年度当初に入園案内のパンフレットを配布し、管理者から丁寧な説明を行い、理念や基本方針、保育目標等の周知への取り組みをしていることを管理者インタビューや職員インタビューで伺いました。保護者アンケート調査結果では、周知していないと答えた方が5人いましたが、全体的には周知が図られていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 8 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。 ■ 9 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。 ■ 10 子どもの数・利用者（子ども・保護者）像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人（保育所）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。 ■ 11 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。 	<p>○佐久市の子ども・子育て支援計画及び中・長中期計画、公立保育所の今後の在り方指針等には、社会福祉事業全体の動向、地域の福祉・保育全体の動向やニーズ・課題等についての把握・分析と方向性が示されています。</p> <p>○管理者は、毎月開催される公立保育所園長会で、地域の子どもの数・利用者像、保育ニーズに関する情報を把握し、当園の保育事業運営を長期的視野に立って、考えていることを管理者インタビューで伺いました。</p> <p>○管理者は、毎月、当園のコスト分析や利用率を行い、保育内容や職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析を適切に行実施していることをデータ資料やインタビューで確認できました。</p>
			② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 12 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。 ■ 13 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。 ■ 14 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。 ■ 15 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。 	<p>○佐久市の子育て支援課により、保育事業を取り巻く環境や運営状況の把握・分析が行われ、定期的な公立保育所園長会で管理者の情報提供や協議により、各保育園の課題を明確にし、改善等の具体的な取り組みを共有する仕組みがありました。</p> <p>○管理者や主任保育士は、毎月定期的に開催される公立保育所の「園長会」「主任保育士会」で、各園の運営課題や改善のための取り組み状況を周知共有する仕組みになっていました。</p> <p>○当園の運営課題については、特に修繕や設備整備課題は、職員会で意見を聞いて、優先順位等改善計画を策定し、佐久市担当課と連携し、組織として取り組む体制になっていました。</p>
	3 事業計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 16 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。 ■ 17 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。 □ 18 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。 ■ 19 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。 	<p>○中・長期計画は、「佐久市子ども・子育て支援事業計画として、平成27年からの5カ年計画と策定され、経営状況のデータに基づいて、収支計画も策定されていました。</p> <p>○中・長期計画は、「全ての子どもが健やかに成長できる地域社会の実現」が基本テーマとして明示され、理念・基本方針の具現化に向けた内容になっていました。</p> <p>○中・長期計画の実施状況の評価等については、佐久市担当課においては、適切に実施されておりますが、当園においても、市担当課と情報を共有し、保育園組織として全職員の周知共有を図ることをさらにお願いたします。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b)	<input type="checkbox"/> 20 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 21 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 22 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。 <input type="checkbox"/> 23 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	<p>○単年度事業計画及び収支計画は、当該年度における具体的な事業や保育等に関わる内容が具現化され、また、中・長期計画が反映された具体的な事業計画が求められています。行事計画と同様に数値化した定量的な分析評価が可能な単年度事業計画と収支計画を図ることを期待します。</p> <p>○行事計画は、実施状況の管理者や主任保育士により評価・分析がされ、職員会等で全職員で検討され、次年度の計画に反映される仕組みがありました。</p>
		(2) 事業計画が適切に策定されている。	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 24 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 25 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 26 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 27 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 28 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）されており、理解を促すための取組を行っている。	<p>○単年度事業計画の策定は、前年度末に職員会等で全職員の意見を集約し、策定する仕組みが確立していました。また、事業計画書は、年度当初に全職員と保護者に配布説明され周知が図られていました。</p> <p>○事業計画は、年に2回評価・見直しが行われ、職員が共有周知できる仕組みがあることを会議資料や職員インタビューで伺いました。</p> <p>○特に行事計画は、各事業毎に評価・見直しが随時行われ、次年度の計画に反映される仕組みがあることを会議資料等で確認できました。</p>
			② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 29 事業計画の主な内容が、保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 30 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 31 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 32 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	<p>○事業計画は、毎年度「入園のしおり」に明示されて、保護者等に説明し周知を図る取り組みがありました。</p> <p>○特に行事計画については、園だよりにより、随時保護者等への通知し、周知が図られていました。</p> <p>○行事の案内は、図や絵等のイラストをふんだんに用いて、園児にもわかりやすいように工夫されておりました。</p> <p>○保護者アンケート調査結果では、事業計画や行事計画は、丁寧に説明していただいているので周知しているとのコメントがありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 ② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 33 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。 ■ 34 保育の内容について組織的に評価（C: Check）を行う体制が整備されている。 □ 35 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。 ■ 36 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。 ■ 37 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。 ■ 38 職員間で課題の共有化が図られている。 □ 39 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。 □ 40 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。 ■ 41 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。 	<p>○第三者評価は、今回が初めての受審で、今回の結果の共有と改善課題への取り組み等、保育の質の向上に向けた継続的な取り組みを期待します。</p> <p>○保育の質の向上への取り組みについては、管理者・主任保育士が先頭になって、日常的に職員に指示・働きかけていることを記録資料等で確認できました。自己評価は、市の子育て支援課が一体的に実施し、評価・分析も適切に行われる等、組織的に取り組んでいました。</p> <p>○佐久市担当課で定めた自己評価シートにより、職員全員の自己評価が毎年度実施され、評価結果については、園長との面談等により、評価点や改善課題等も共有されることで、改善のための取り組みが行われていることを記録で確認しました。</p> <p>○課題の中には、設備の改善や安全対策等についての具体的な提案もあり、それに基づいて、管理者から市の担当部署に随時報告し、改善を進める仕組みがありました。</p> <p>○今回の第三者評価の結果についても、全職員で共有し、具体的な改善計画を策定・実施していくことにより、さらに保育の質の向上を図っていただくことを期待します。</p>
II 組織の運営管理	1 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 42 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。 ■ 43 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。 ■ 44 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。 ■ 45 平常時のみならず、有事（災害、事故等）における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。 ■ 46 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。 ■ 47 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。 ■ 48 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。 ■ 49 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。 	<p>○管理者は、職務権限において、自らの責任と役割を職務分掌表に明示し、会議等で職員に表明していることを資料や職員会議録で確認しました。</p> <p>○一般職員の自己評価結果や訪問調査時の職員インタビューにおいても、管理者のリーダーシップについては、「できている」との答えがほとんどでした。</p> <p>○特に災害時や事故等の有事においては、管理者の役割や責任がマニュアルに明示されており、周知が図られました。</p> <p>○佐久市公立保育園の園長会が毎月1回開催され、法令に関する情報の周知共有が図れる仕組みがあり、保育所として遵守しなければならない基本的な関係法令が適切に把握されていることを、会議録や管理者インタビューで伺うことができました。</p> <p>○法令遵守の取り組みは、管理者の与えられた職業の範囲において、理念や基本方針、保育目標、社会的ルールや保育倫理等法令に関連づけて、職員会議や資料等により、職員への周知が図られていました。</p> <p>○職員インタビューや職員の自己評価結果でも、「できている」の評価が多数ありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 50 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。 ■ 51 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。 ■ 52 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。 ■ 53 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。 ■ 54 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。 	○管理者は、長年の保育現場・管理者経験で培われた保育への信念があり、理念や基本方針を具現化した保育の質の向上に向けた取り組みを全ての職員と一緒に共有したいの思いを管理者インタビューで伺いました。 ○管理者及び主任保育士は、保育目標等に基づいた保育の質の向上の課題を把握し、日常的に職員に意見を求め、随時、職員研修等で課題や改善についての具体的な取り組みを表明し、率先して取り組んでいることが会議録や職員インタビューで伺うことができました。 ○職員インタビューや自己評価結果においても、管理者の指導力を高く評価するコメントが多数ありました。
			② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 55 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。 ■ 56 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。 ■ 57 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。 ■ 58 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。 	○管理者は、職掌範囲において、人事や労務、財務等の改善や業務の実効性を高めるための取り組みを、適切に行っていることを財務表や管理者インタビュー等で確認できました。 ○経営の改善に向けた、人事、労務、財務等の検証や効果的な業務の実現に関しては、市の子育て支援課と連携し、適切に実施し、管理者や主任保育士は、毎月定期的開催される「園長会」「主任保育士会」で情報を共有し、資料や研修会等で職員への周知努めていました。
育2 成福 祉人 材の 確保		(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 ■ 60 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。 ■ 61 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 ■ 62 法人（保育所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。 	○管理者は、当園の職員体制等に関して、市の担当課に定期的に報告相談して、職員採用や人事管理については、市の担当部署で一括して管理する仕組みになっていることを人事規程資料で確認しました。 ○管理者は、必要な人材を市の担当部署に依頼して、人材の確保や育成に努めていました。 ○職員インタビューでは、時間帯によって人手不足を訴える方もおりましたが、配置基準上では、必要な職員数の不足は認められませんでした。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 総合的な人事管理が行われている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 63 法人（保育所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 ■ 64 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。 ■ 65 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 ■ 66 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 ■ 67 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 ■ 68 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 	<p>○総合的な人事管理は、市の担当部署により、総合的人事管理制度に基づいて、一体的に運営管理されておりました。</p> <p>○人事管理規定に基づいて、職員処遇基準や人事考課制度、目標管理制度が導入されていました。</p> <p>○期待する職員像は、「公立保育所の求められる保育士」が冊子として策定されていることを冊子資料で確認しました。</p> <p>○職員インタビュー、自己評価結果で、人事規程や人事基準については「わからない」とのコメントがありましたが、職員研修会で規程の読み合わせ等が定期的に行われていることを会議録で確認しました。</p> <p>○職員インタビューでは、将来像については、良くも悪くもなんとなくわかるとのコメントが多くありました。</p>
		(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。 ■ 70 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。 ■ 71 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。 ■ 72 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 ■ 73 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。 ■ 74 ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。 ■ 75 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。 ■ 76 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。 	<p>○管理者は、毎月ごとの職員就業状況をデータ化して、個々の職員の出勤率、有給休暇取得率、時間外労働を把握していることを資料で確認しました。</p> <p>○自己評価シートの定期的な職員個別面談により、管理者は、職員の就業状況や意向の把握を行う中で、アドバイスや指示を適切に行っていることを目標管理制度の自己評価シート等で確認できました。</p> <p>○管理者は、職員の心身の健康と安全の確保、ワークライフバランスに配慮した職場作りを職員会等で表明し、積極的に職員に関わり、休憩時間を活用して一緒に過ごす中で、日常的に意見や提案を把握していることを管理者インタビューで確認しました。</p> <p>○職員のインタビューでは、「少し厳しいと感じることもあるが、メリハリのある対応で働きやすい」とのコメントが多く聞かれました。</p> <p>○職員の就業状況や意向については、毎月の公立保育所施設長会で各保育園から報告共有され、改善策についても検討される仕組みがありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 77 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。 ■ 78 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。 ■ 79 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。 ■ 80 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。 ■ 81 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。 	<p>○期待する職員像は、「公立保育所の求められる保育士」が冊子として策定されていることを冊子資料で確認しました。</p> <p>○理念・基本方針、保育目標等の保育所全体の目標や職員一人ひとりの目標の統合を目指す、目標管理制度が導入され、市の子育て支援課が一体的に管理実施していました。</p> <p>○職員一人ひとりの目標設定は、年度当初に園長、主任保育士の個別面談により設定され、期末にも目標管理シート等による進捗状況、達成状況を確認するための面談が行われていることを資料や職員インタビューで確認しました。</p>
			② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 82 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。 ■ 83 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。 ■ 84 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。 ■ 85 定期的に計画の評価と見直しを行っている。 ■ 86 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。 	<p>○市の子育て支援課の公立保育所職員研修体系にもとづいて、基本方針や保育目標や計画により、新任、中堅、管理職等の教育・研修が、計画的に実施されていることを事業報告資料で確認しました。</p> <p>○教育・研修は、正規職員だけでなく、臨時職員等も対象とした研修体系になっておりました。臨時職員インタビューでは、もっと研修にでたいとのコメントがありました。</p> <p>○市の公立保育所の研修では、各保育所の自主テーマによる実践発表が毎年開催されておりました。</p> <p>○必要な研修は、当園の研修計画により、内部・外部研修が計画され、実施されていることを事業報告資料で確認できました。</p>
			③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 87 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。 ■ 88 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。 ■ 89 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。 ■ 90 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。 ■ 91 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。 	<p>○市の担当部署の教育・研修体系は、階層別研修、職種別研修、テーマ別研修、自主研修が計画されていて、職員一人ひとりが参加できる仕組みがありました。</p> <p>○公立保育所の研修計画や園域、地域関係団体の研修も多種多様に計画され、また、内部研修、外部研修の伝達研修も計画的に実施され、周知共有に努めていることを、復命書や研修記録等で確認できました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 92 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。 ■ 93 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。 ■ 94 専門職種の特徴に配慮したプログラムを用意している。 ■ 95 指導者に対する研修を実施している。 ■ 96 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。 	<p>○実習生等の受け入れについては、市の子育て支援課と管理者が窓口になって、連携しながら一体的に受け入れる体制になっていることをマニュアルや管理者インタビューで伺いました。</p> <p>○当園の受け入れについて、マニュアルにより、主任保育士が連絡窓口として、職員への事前説明、園児・保護者への説明、オリエンテーション、実習計画書の作成等を適切に実施していることを実習・研修実績表で確かめました。また、実習指導者研修は主任保育士が担当として出席しているとのことでした。</p> <p>○毎年度、保育専門学生の実習を3～5名の受け入れしていることを実習生受け入れ実績記録で確認しました。</p>
	3 運営の透明性の確保	(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 97 ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。 ■ 98 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。 □ 99 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。 ■ 100 法人（保育所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人（保育所）の存在意義や役割を明確にするように努めている。 ■ 101 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。 	<p>○佐久市のホームページには、子ども・子育て支援法に基づいて、当園の、保育所運営や財務情報、職員に関する情報、教育・保育等の内容等に関する情報が適切に公開され、運営の透明性を図る取組がありました。</p> <p>○当園の「入園案内」にも、理念・基本方針、保育目標や事業計画、収支計画等が揭示されて、保護者等への情報の周知が図られていました。</p> <p>○今回の第三者評価受審は、初回ではありますが、管理者は業所コメントやインタビューで、評価結果については、市の担当課と協議し、このあとに公表したいとの話がありました。</p>
			② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 102 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。 ■ 103 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。 ■ 104 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。 ■ 105 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。 □ 106 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。 □ 107 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。 	<p>○規程により職務分掌範囲で保育園の事務、経理、取引等に関して管理者が行い、市の担当部署と連携し、担当課で一体的に管理する仕組みになっていました。</p> <p>○園長は、職掌の範囲の中で、必要な事務処理や消耗品管理、出入り業者管理等を適切に行っていることを職務規程や管理者インタビューで伺いました。</p> <p>○外部監査の実施が不明でした。特に公益性の高い事業所については、公正性と透明性を確保し、説明責任を果たす観点において、外部の公認会計士等会計に関する専門家による、2年に1回程度の外部監査が求められております。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	4 地域との交流、 地域貢献	(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 108 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。 ■ 109 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。 ■ 110 子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。 ■ 111 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。 ■ 112 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。 	<p>○佐久市の基本理念・基本方針、保育目標及び当園の運営方針、保育目標には、地域との連携が具体的に明示されていて、年間行事計画にも種々の地域交流事業が計画され、実施定着していることを資料や行事計画書等で確認できました。</p> <p>○地域との交流事業は、お年寄りとの交流会、世代間交流会（祖父母参観）、未就児交流、小学校との交流等が計画実施され、近くのお寺への定期的な訪問交流を通して、地域との交流を深めていました。</p> <p>○信州型自然保育園に認定されて、山遊び、虫探しの戸外活動、昆虫の飼育観察等が地域住民の協力で職員と園児と一緒に取り組む活動があることを職員インタビューで伺いました。</p>
			② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 113 ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。 ■ 114 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。 ■ 115 ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。 ■ 116 ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等が必要な研修、支援を行っている。 ■ 117 学校教育への協力を行っている。 	<p>○ボランティア活動についてのマニュアルがあり、特に地域住民のボランティア活動を積極的に受け入れようとする姿勢がうかがえました。</p> <p>○管理者や主任保育士が、ボランティアの受け入れ窓口になって、受け入れに関する流れ、事前説明等の資料により、適切な受け入れ体制がありました。</p> <p>○市の子育て支援課や市社協から、中学生の職場体験、高校生のインターンシップや保育専門学生のボランティア活動等についての受け入れ依頼があり、積極的に受け入れていました。</p> <p>○隣接の小学校との定期的な相互交流があり、地域住民による定期的なボランティア活動も定着していました。</p>
		(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 118 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。 ■ 119 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。 ■ 120 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。 ■ 121 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。 ■ 122 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。 ■ 123 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。 	<p>○社会資源は、園の近くに多く、日常的に職員や園児も利用していることもあり、周知していました。特に隣接する児童館や小学校と定期的に相互交流行事を行い、民生児童委員協議会、他保育所、高齢者デイサービス事業所等との定期的な交流が当園の行事として計画されて事業として定着していて、児童館とは、週2回子育てサロンを共催し、天気の良い日は園庭でレクリエーション活動をしていることを職員インタビューで伺いました。</p> <p>○児童館の子育てサロン事業に、当園からも園児や職員が参加したり、園に招いて未就園児や保護者との交流を深めていました。</p> <p>○管理者は、地域の子育て支援の拠点としての当園の役割を十分に自覚していて、関係機関団体のネットワーク化にも積極的に参加し、虐待等の権利侵害の把握通報や子ども・保護者のアフターケア等地域の子育て支援の課題について、中核として取り組んでいることをインタビューで伺いました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 124 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。 ■ 125 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。 ■ 126 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。 ■ 127 災害時の地域における役割等について確認がなされている。 ■ 128 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。 	<p>○保育園の園庭や遊戯室を計画的に開放して、園児や地域の未就学児童や保護者のサロン活動、小学生等が楽しく遊んでいることを職員インタビューで伺いました。</p> <p>○地域の子育て支援に関する相談支援は、児童館や市の保健師、臨床心理士と連携して適切に対応する仕組みがあることを管理者インタビューで伺いました。</p> <p>○園舎が老朽化していて、安全な地域との交流スペースの確保が難しい様子ですが、遊具の安全点検等創意工夫や隣の児童館設備を活用する等で保育所の専門機能を、地域に還元する取り組みが認められました。</p> <p>○災害時の地域の避難場所に指定されているが、建物の老朽化と土砂崩落危険地帯ということもあり、実際の活用は難しいが隣の児童館と小学校と連携して災害時の役割を担っていきたいとの管理者のコメントがありました。</p>
			② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 129 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。 ■ 130 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。 ■ 131 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。 ■ 132 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。 □ 133 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。 ■ 134 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。 	<p>○隣接の児童館とコラボして、子育てサロン事業を応援協力し、未就園児と保護者の相談支援を積極的に取り組んでいました。</p> <p>○特に子育てサロン事業への関わりにおいて、保護者からのニーズに対しては、園長が適切に対応していることをインタビューや記録で確認しました。</p> <p>○保育所は、地域社会における福祉向上の役割を果たすために、地域の具体的な福祉ニーズを把握し、これに基づく保育所独自の公益的・活動を積極的に行うことが求められています。地域交流行事等において、アンケート調査を実施する等ニーズを把握し、ニーズに基づいた保育所の公益的・活動を佐久市担当部課と協議連携して、保育所の専門機能を地域に還元する取り組みを期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 135 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 ■ 136 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 ■ 137 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。 ■ 138 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。 ■ 139 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。 ■ 140 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。 ■ 141 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。 ■ 142 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。 	<p>○理念・基本方針、保育目標には、子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明示されていて、組織内で共通の理解がなされていることを、指導計画や職員インタビューでも確認できました。</p> <p>○理念は、子どもの人権に十分配慮した内容になっており、一人ひとりの園児を受容し、園児が安心して生活できる環境を整え、一人ひとりの園児に応じた発達を援助する保育が保育課程の編成資料等で確認できました。</p> <p>○子どもの尊重や基本的人権の配慮に関する園内の研修会が定期的に行われ、身体拘束や虐待防止についての周知徹底が、図られていることを会議録や職員インタビューで伺うことができました。</p> <p>○理念や基本方針、保育方針は、子どもを尊重する基本姿勢が明示され、家庭状況や生活習慣等の違いを受け入れ、子ども一人ひとりの人格・個性を尊重する保育姿勢がくみ取れる内容になっていました。</p>
			② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 143 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 144 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 145 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。 ■ 146 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。 ■ 147 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。 ■ 148 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。 ■ 149 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。 	<p>○子どものプライバシー保護や虐待防止等の権利擁護に関する規程・マニュアルが整備されていて、職員会議や研修会等で職員の周知図る取組が会議録で確認できました。</p> <p>○子どもの尊重や基本的人権の配慮に関する園内の研修会が定期的に行われ、身体拘束や虐待防止についての周知徹底が図られていることを会議録で確認できました。</p> <p>○各保育室は、採光がよく、温度計、湿度計、加湿器、エアコン、扇風機が設置され、快適な環境になっていました。</p> <p>○子どもの虐待等権利擁護に関する保護者への説明を管理者が保護者会等を行っていることを資料で確認しました。</p> <p>○園舎や設備は老朽化して不便との職員コメントもありましたが、トイレ設備は、清潔感があり、トイレのドアも機能していて、管理者や保育士が園児のプライバシー保護に配慮した創意工夫をしていることが伺えました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 150 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。 ■ 151 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。 ■ 152 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。 ■ 153 見学等の希望に対応している。 ■ 154 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。 	<p>○市の子育て支援課が、市内の保育所の全情報をホームページや資料等で公表し、保護者の保育所選択の情報を提供し、佐久市内の公共施設に配布して、広く市民の周知共有に努めていました。</p> <p>○当園でも、児童館等に「入園の案内」を置いて、また、見学等の希望者にも配布をして、周知につとめていることを管理者インタビューで伺いました。</p> <p>○当園は、保育の利用希望者に必要な情報提供を積極的に行うことを文書化し、管理者が見学希望者等に丁寧に対応し、また、利用ニーズに合わないケースについては、他の公立保育所の資料や情報を提供する等、適切な対応をしていることを管理者インタビューで伺いました。</p>
			② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 155 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。 ■ 156 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。 ■ 157 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。 ■ 158 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。 □ 159 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。 	<p>○保育の開始や保育内容の変更時に際しては説明資料により、手順や内容がわかりやすく工夫されていました。</p> <p>○説明資料は、進級時(年度替り)や子どもの発達や生活の節目に配慮した内容になっていました。</p> <p>○子ども・子育て支援法に基づき、保育所は利用申し込み者に対し、保育所の目的、運営方針、保育内容、職員の勤務体制等の保育所の選択に資する重要事項を記した文書を交付し、同意を得ることが求められています。保育園は、「入園案内」により重要事項書として活用しておりますので、別途作成する必要はないと思いますが、保育の開始や変更時に関する記載もお願いできればと思います。</p> <p>○特に配慮が必要な保護者への説明については、今後よりルールを明確にして、対応の深掘りを図っていくことを期待致します。</p>
			③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 160 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。 ■ 161 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。 ■ 162 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。 	<p>○園児の状態の変化や家庭環境の変化等により、保育所等の変更を行う場合には、保育の継続性に配慮した、引継ぎや申し送りの手順等が文書化されていました。</p> <p>○保育の変更時の際は、市の子育て支援課と連携して適切な対応がなされていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 利用者満足の上昇に努めている。	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 163 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。 □ 164 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。 ■ 165 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。 ■ 166 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。 □ 167 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。 □ 168 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。 	<p>○クラス担任以外にも管理者や職員全員で、一人ひとりの園児が安全で安心に過ごしていることを確認し、少しでも変化があった場合は、担当保育士や主任保育士、管理者に報告して、適切に対応する仕組みがありました。</p> <p>○当園するとすぐに、9時から園庭で全園児と一緒に体操やかけっこ、レクレーション活動を行い、園児や職員同士の交流がありました。</p> <p>○園児本位の保育は、保育所が一方向的に判断できるものではなく、園児一人ひとりがどれだけ満足しているかという双方向性の観点が求められます。しかし、園児が自分の意志を十分に伝えられないことも考慮し、保護者の満足度調査を年1回以上実施することが求められています。園児の満足の把握、保護者に対する利用者満足に関する調査を定期的に行い、調査結果を活用して、さらに保育の質の向上や運営の改善に向けた取り組みを組織的に図ることを期待します。</p>
		(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 169 苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。 ■ 170 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。 □ 171 苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。 ■ 172 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。 ■ 173 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。 ■ 174 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。 ■ 175 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。 	<p>○苦情解決の体制が整備され、園舎入り口の掲示板に設置され、保護者等の周知が図られていました。</p> <p>○地域の民生児童委員等6名以上の方が、苦情解決第三者委員として定期的に来園活動をしていました。</p> <p>○意見箱や苦情カード等、見やすい場所に設置する工夫をお願いします</p> <p>○連絡ノートや日々の送迎時に保護者からの意見や要望を把握し、担当保育士が丁寧に対応していることを記録やインタビューで確認しました。</p> <p>○苦情・要望は、当園に直接寄せられるものと市の担当部署が受けたものも記録されて、解決手順、結果公表も適切に行われました。</p> <p>○「入園案内」にも苦情解決の仕組みが明示され、保護者への説明と配布がなされていました。</p>
			② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 176 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。 ■ 177 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。 ■ 178 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。 	<p>○保護者からの相談や意見については、入園時に文書による説明をして、相談窓口については、管理者や保育士等複数の方法や相談相手を自由に選べる等、保護者が自由に気軽に相談できることを明示した資料内容になっていました。</p> <p>○送迎時等には、保育士が保護者に日常的に言葉かけ等を積極的に行い、保護者の意見や要望を把握するための取り組みがあることを記録やインタビューで伺いました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 179 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。 ■ 180 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 ■ 181 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。 □ 182 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。 ■ 183 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。 ■ 184 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。 	<p>○保護者等からの相談や意見については、苦情解決の仕組みと一体的に運用され、マニュアルに基づいて、迅速に対応する仕組みがありました。対応マニュアルは、苦情解決と同様に手順や内容、結果等が記録として整備されていました。</p> <p>○保護者からの相談や要望・意見は、送迎時や連絡ノート等の日常の保育士とのコミュニケーションの中で寄せられることが多く、対応した保育士が記録して管理者に報告する仕組みになっていました。</p> <p>○保育所は、苦情に限らず、保育の内容や生活改善等に関する意見や要望・提案等に対して、積極的に対応することが求められています。満足度調査等を活用して、保護者等の意見を積極的に把握し、さらに保育の質の向上・改善に反映させる取り組みを期待します。</p>
	(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 185 リスクマネジメントに関する責任者の明確化（リスクマネージャーの選任・配置）、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。 ■ 186 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。 ■ 187 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。 ■ 188 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。 ■ 189 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。 ■ 190 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。 	<p>○リスクマネジメント体制は、管理者が責任者になっていて、事故発生時の対応マニュアルには、連絡方法の手順や役割が明記され、事故発生時の適切な対応と園児の安全確保が明示されたマニュアルとして、事務室や各保育室に掲示され、全員が周知できるような取り組みがありました。</p> <p>○緊急時連絡網やオクレンジャーには、市の担当部署の係も含まれた詳細な資料になっていました。</p> <p>○リスクカードも適切に作成され、職員は積極的に提出していました。</p> <p>○提出されたリスクカードは、随時、委員会で分析や改善策等が検討されていることを記録で確認しました。</p> <p>○事故対応マニュアルの実施状況や実効性についての定期的な見直し評価を記録で確認できました。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 191 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。 ■ 192 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。 ■ 193 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。 ■ 194 感染症の予防策が適切に講じられている。 ■ 195 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。 ■ 196 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。 ■ 197 保護者への情報提供が適切になされている。 	<p>○感染症対策については、「保育所における感染症対策ガイドライン」にもとづいた対応マニュアルが整備され、「入園案内」に明記され、保護者に配布し、管理者が丁寧に説明、周知に努めていることを入園案内資料や管理者インタビューで伺いました。</p> <p>○各保育室や手洗い場には、対応マニュアルが掲示され、手洗いやうがい方法が絵図で示されました。定期的な研修会で、職員への周知が図られていました。</p> <p>○地域の感染症の情報も、市の子育て支援課から情報がいち早く届き、適切な対応をする仕組みになっていました。また、市の保健師による感染症に関する職員研修会が開催され、職員への周知が図られていました</p> <p>○毎年度、感染症の流行時期には、「園だより」「クラスたより」により、保護者への情報提供や予防対策等が伝わるようになっていました。</p>
			③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 198 災害時の対応体制が決められている。 ■ 199 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。 ■ 200 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。 ■ 201 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。 ■ 202 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。 	<p>○災害時の対応体制は、「火災・消化・通報対応マニュアル」として整備されていました。</p> <p>○園舎のすぐ傍は、深い崖で河川（湯川）が流れていて、崩落の危険地帯に立地しているため、耐震措置や落下防止対策等への意識は高く、想定した避難訓練が実施されていることを防災計画で確認できました。</p> <p>○防災訓練は、毎月実施され、地域住民や地元消防署の協力、指導で実施されていました。</p> <p>○災害発生時の園児・保護者、職員の安否確認方法等体制も整備されていました。</p> <p>○保護者アンケート調査結果には、防犯対策について不安とのコメントが複数ありましたが、不審者対応マニュアルが整備され、訓練等も保護者に見てもらい、周知理解に努めているとの管理者、職員の話がありました。</p>
2 福祉サービスの質の確保	(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 203 標準的な実施方法が適切に文書化されている。 ■ 204 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。 ■ 205 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。 ■ 206 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。 ■ 207 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。 	<p>○指導計画書や保育課程の編成等には、園児の状況や発達状況に応じた、標準的な実施方法が文書化されて、一定の水準、内容等を実現するために、一人ひとりの園児の個性を考慮した内容になっていました。</p> <p>○管理者は、園児や保護者等との関わりにおいて、職員個々の対応の差異をなくし、より適切な関わり方を職員個々が共有するために、日常的に職員と話し合い事例を収集し、標準的な実施方法について文書化し、職員会議等で職員全員が周知共有できるように努めていることを文書で確認しました。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 208 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。 ■ 209 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。 ■ 210 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。 ■ 211 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。 	<p>○指導計画の定期的見直しに合わせ、職員個々の話し聞いて、標準的実施方法の現状分析と見直しが行われていました。</p> <p>○標準的な実施方法の見直しは、職員や保護者等からの意見や提案に基づいて、保育の質に関する職員の共通意識を育てることと、PDCAのサイクルによって、質に関する検討が保育所として組織的に行われていることを、見直し等の改訂記録や検討会議録で確認できました。</p>
	(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 212 指導計画策定の責任者を設置している。 ■ 213 アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 ■ 214 さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 ■ 215 保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。 ■ 216 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。 ■ 217 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。 ■ 218 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。 ■ 219 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。 	<p>○指導計画は、主任保育士が中心になり、園児一人ひとりの発達や状況に応じた保育や子ども・保護者のニーズを把握するアセスメント様式に基づいて、適切に策定実施されていました。</p> <p>○指導計画書は、保育所保育指針や保育課程に基づいて、一人ひとりの園児の発達や状況に応じた内容になっていました。</p> <p>○市で毎月実施されている「主任保育士会」においても、他の保育所の指導計画の策定についての情報交換が行われていました。</p> <p>○指導計画策定の責任者（主任保育士）は、策定に当たっては、クラス担当や職員からの意見を把握する機会を定期的に設定し、計画決定までのプロセスを適切に行っていました。</p> <p>○市で毎月実施されている「主任保育士会」においても、他の保育所の指導計画の策定についての情報交換が行われていました。</p> <p>○指導計画とクラス毎の指導計画は、整合性が図られていることを計画書で確認できました。</p>	
		② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 220 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。 ■ 221 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。 ■ 222 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。 ■ 223 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。 ■ 224 評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。 	<p>○指導計画は、アセスメントから計画策定、実施、評価、見直し等のプロセスが手順として、文書化され、適切に行われていることを文書と指導計画書で確認しました。</p> <p>○指導計画は、保護者の意向も反映された内容になっていることを計画書で確認できました。</p> <p>○計画の評価・見直しは、年度途中に定期的に見直し評価が行われ、急な変更や支援困難なケースへの対応も、職員会議で全職員の周知を図り、また、保護者にも同意を得ていることを変更後の計画書で確認しました。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 225 子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。 ■ 226 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。 ■ 227 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。 ■ 228 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。 ■ 229 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。 	<p>○佐久市担当課は、園児一人ひとりに対する保育の実施状況等の記録について、佐久市公立保育所の統一した様式として整備し、各保育園で活用する仕組みになっていました。</p> <p>○指導計画に基づいた、個別計画も所定の様式により、適切に整備され記録されていました。</p> <p>○計画の評価・見直しは、定期的に行われていて、年度末には引継ぎや申し送りとして適切に次年度に伝達する仕組みがありました。</p> <p>○計画の評価・見直しは、定期的に行われていて、年度末には引継ぎや申し送りとして適切に次年度に伝達する仕組みがありました。</p>
			② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 230 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。 ■ 231 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。 ■ 232 記録管理の責任者が設置されている。 ■ 233 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。 ■ 234 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。 ■ 235 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。 	<p>○佐久市の公立保育所の個人情報保護規程は、基準にもとづいて適切に整備され、各保育園が規程により適切に実施する仕組みになっていることを規程と当園マニュアルで確認しました。</p> <p>○マニュアルには、個人情報記録、保管場所、保存期間、開示、保管責任者等が明記されていました。</p> <p>○園児や保護者の記録は、園長室に鍵のついたケースに適切に保管されていました。</p> <p>○個人情報保護に関する職員の研修会も、定期的・計画的に実施され、職員の自己評価結果やインタビューでも、周知の徹底ができていたことが確認できました。</p> <p>○保護者には、「入園の案内」により説明・周知が図られていました。</p>